

第4回 宇野港宇野地区中長期ビジョン検討会

事務局説明資料

令和8年3月17日

中国地方整備局 港湾空港部

序章	これまでの経緯
第1章	第3回検討会での主なご意見
第2章	第3回検討会後の委員への個別意見伺い
第3章	宇野港宇野地区中長期ビジョンの とりまとめに向けた整理
第4章	宇野港宇野地区中長期ビジョンの確認

第4回検討会の内容

第1回検討会
(令和7年3月19日)

《第1回検討会の内容》
○宇野港宇野地区の港湾機能の向上・にぎわい空間の創出に向けた方策等を検討し、「宇野港宇野地区中長期ビジョン」としてとりまとめることを目的に検討会を実施。
⇒ 検討会各メンバーから現状の課題や意見、認識を共有。

第2回検討会
(令和7年11月5日)

《第2回検討会の内容》
○前回検討会での意見と過去の事業の振り返りを整理し、事務局が整理した中長期ビジョンの取組を説明し、解決策・方向性について議論（意見交換）。
⇒ 検討会各メンバーによる現状・課題、解決策（案）・方向性を議論。

第3回検討会
(令和8年1月27日)

《第3回検討会の内容》
○前回検討会での意見交換を踏まえ、中長期ビジョンにおける将来像、基本戦略、具体的な取組、ロードマップ（案）を説明し、議論（意見交換）。

第4回検討会
(令和8年3月17日)

本日の検討会

《第4回検討会の内容》
○「宇野港宇野地区中長期ビジョン」のとりまとめ（案）を説明し、議論（意見交換）。



『宇野港宇野地区中長期ビジョンとりまとめ』公表

序章	これまでの経緯
第1章	第3回検討会での主なご意見とその対応
第2章	第3回検討会後の委員への個別意見伺い
第3章	宇野港宇野地区中長期ビジョンの とりまとめに向けた整理
第4章	宇野港宇野地区中長期ビジョンの確認

第3回検討会での主なご意見とその対応

将来像・基本戦略・具体的な取組について

- ◆ 宇野港は目的地になるだけでなく、**心理的にも地理的にもスタートできる場所であることをアピールしてもよいのでは**と思っている。
【事務局対応】我々が作成したキャッチフレーズに解説を入れるような形で触れていく。
- ◆ サブタイトルとして目的地があり、観光客だけではなく地元の方も集まり、賑わうということが将来像として非常にまとまっている。ただ、**「惹かれる」という文言については、もう少し他の案が何かあればと思う。**
【事務局対応】今後良い案が出れば修正するか検討する。
- ◆ 戦略として玉野市拠点の観光プランがあるが、本検討会ビジョンは宇野港宇野地区を拠点としたものであるため、範囲が広すぎると、ブレてしまい、不自然だと思う。**拠点の範囲は小さい方がよいため、宇野港を拠点としたものがよい。**
【事務局対応】「宇野港を拠点の」というフレーズに修正する。
- ◆ 観光客、地元住民の定義を検討会内でしっかり共有する必要がある。
【事務局対応】本検討会の「観光客」の定義は宇野港周辺に住んでいない方で、宇野港を訪れる方を観光客とする。
- ◆ 「SETOUTI GATEWAY」はコンセプトなのか、キャッチコピーのようなものか。
【事務局対応】「SETOUTI GATEWAY」はキャッチフレーズでもあり将来像でもある。

第3回検討会での主なご意見とその対応

今後の取組について

- ◆ 観光している人たちがどういうものを求めているのかを知るために意見を聞くべきだと思う。また、若い方の意見を聞く機会があればよい。
- ◆ 地元の方や教育委員会を巻き込んで地元の子供たちの教育の一貫とした取組をすることができれば若い世代も宇野港に目を向け、未来に向かってビジョンやパッションを持つことができると考える。
【事務局対応】若者等に対して何を取り組んでいくか検討させていただく。
- ◆ 現実的な取組として、ただの案内看板だけでなく、宇野の特徴を活かした観光客が読み込んでくれるような看板が設置できれば良いと考える。
【事務局対応】宇野港の特徴や玉野市の特徴を活かしながらということに理解した。
- ◆ 民間投資を呼び込んでいく場合はふわっとした議論をしているだけでは何も進まないと考える。また、どのように進めるのか具体的な手段も議論していかないといけないと考えるが、責任を持って事業主体を決めるのは非常に難しいのではないかとと思う。
【事務局対応】事業主体は決めずに具体的な取組の項目出しをしていく。
- ◆ どういう役割分担で行政がどんな立ち回りをしてどのように民間を巻き込んでいるのか、日本全国の港で港のまちづくりを行っている事例を見ながら学んでみるということは如何か。
【事務局対応】検討会で議論するのは時間がないため、取組事例（境港、尾道糸崎港）について委員の方々へご提示しつつ、個別に意見を伺い、とりまとめをしていく。
- ◆ 様々な主体が実際に事業をするようなビジョンであるため、細かい取組を本ビジョンで決めることは難しいと考える。目指すべき方向性から脱線しないように提案していくべきだ。
【事務局対応】事業主体は決めずに本ビジョンと違った方向に行かないように取組の項目出しをしていく。
- ◆ 玉野市の今後の将来に向けたまちづくりにおいて、港湾管理者である岡山県ともしっかりと相談し、将来の事業主体となり得るべき人も巻き込みながら地元自治体としてまとなまちづくりを進め、民間投資も含めて引き込むように玉野市が地元主体として動いていきたい。

- 序章 これまでの経緯
- 第1章 第3回検討会での主なご意見とその対応
- 第2章 第3回検討会後の委員への個別意見伺い
- 第3章 宇野港宇野地区中長期ビジョンの
とりまとめに向けた整理
- 第4章 宇野港宇野地区中長期ビジョンの確認

事務局によるデザイン（案）についての意見

- ◆ ターゲットは内部検討用として整理するために記載されているため、世に打ち出すものではない。
- ◆ キャッチフレーズが一番大事。あったほうがよい。
- ◆ 最後に一人歩きするキャッチフレーズは「SETOUCHI GATEWAY」だと思うので、「UNO PORT」は削除し、「SETOUCHI GATEWAY UNO」としてほしい。
- ◆ 「UNO」まで入れると文字が長すぎるため、「SETOUCHI GATEWAY」が良い。
- ◆ 「宇野港へ」という具体的な言葉が入っているため、「UNO PORT」の文字は必要ない。
- ◆ 個人的には「UNO」のワードを入れずに今のままで良い（案内所のロゴを作る際に同様の意見照会を行っており、その際も「SETOUCHI GATEWAY」でロゴを作成していた）。
- ◆ 「SETOUCHI GATEWAY UNO」が良い。
- ◆ 「惹かれ」という言葉は抽象的すぎる。「選ばれ」という言葉の方が、沢山の選択肢から選ぶという一歩進んだ印象を受けるためよいと思う。
- ◆ 目的地として選ばれることがよいと思っていたため、「惹かれ」より「選ばれ」が良い。
- ◆ 「選ばれ」より「惹かれ」の方が柔らかい感じがあるためよいと思う。
- ◆ 感情論であるが、「惹かれる」は魅力があるということで、心がこもっている言葉であるため好き。
- ◆ 玉野市観光計画にサブタイトルで「多くの人に選ばれ、滞在する町へ」と整合をとって、「惹かれ」よりも「選ばれ」が良い。
- ◆ 色覚的には見づらいと思うので、色は濃くした方がよい。
- ◆ 宇野港は海なので赤よりはブルー系統の方が良いと思う。
- ◆ 色の指定は特段ないが、統一カラーがあってもよいと思う。
- ◆ 下線はあったほうがよいと思う。色について意見はない。
- ◆ どのような場面で使うかによってデザインを決めていけば良い。
- ◆ 愛でる玄関口はわかりづらい。
- ◆ サブタイトルは強調表現のないシンプルなものの方がよいと思う。（案②が良い）
- ◆ キャッチフレーズに掲げる言葉はできるだけ抽象的にした方が良く、今のレベル感がちょうどよい。
- ◆ 「日々の疲れを癒やす」場所、「新たなstarting pointとなる」場所がなきゃだめ、と感じとれ、上下の文章と比べて具体性のレベルが高くなっているため、2ポツ目の文章はなくてよいと思う。
- ◆ 実行する取組の中身が重要であるためデザイン（案）はどれでもよい。

ロードマップ（案）についての意見についての意見

- ◆ 事業主体を決めてしまうことは難しい。
- ◆ このロードマップは整っており問題ないと感じる。
- ◆ 拠点形成の対象の空間をどこかにわかりやすく明示したほうが良い。
- ◆ 基本戦略毎にどのエリアを対象とした取組なのかが地元の人でも分かるように、文章や図でわかるようにしたほうが良い。
- ◆ 必要な拠点の機能のところに食事のニュアンスを追加してほしい。
- ◆ 観光客及び地元住民というターゲットであるため、宿泊施設に加え、商業・飲食施設の拡充も追加したほうが良い。
- ◆ 大手ホテルが一つでもできてしまうと、民泊に宿泊する観光客が減少するため、経営が立ちゆかなくなってしまうことを危惧している。
- ◆ 大まかな施設の配置は我々（委員や事務局）で考えてもよいと思うが、詳細は専門家に相談したほうがよいのではないか。
- ◆ 築港地区に住んでいる方が会議できるような交流空間が宇野港にあればよいと思う。
- ◆ 市民ホールなども作れるのであれば作った方が良いが、お金の問題もあると思うので、宇野港全体で統一感のある着色をするなど、現実的にできそうな取組をしたら良いと思う。
- ◆ 観光・産業の項目について、深山公園・王子ヶ岳がメインの話になってしまうと、それは玉野市の観光の話になってしまうため、メインは宇野港としてどうなのかをもう少し記載する必要があると思う。
- ◆ 今の宇野港でも魅力はあると思うため、情報発信により力を入れたほうが良い。
- ◆ ターゲット層がよく見るもの（SNS、テレビ等）を調べ、それに特化した形で情報発信を強化したほうが良い。
- ◆ プロモーション活動はざっくりしているという印象である。
- ◆ 情報発信の項目について、この項目は手段の話であって、拠点形成、観光産業と並べてしまうのに違和感があるが、この項目を柱に据えるのであれば、思いとしてしっかり伝えた方が良いと思う。
- ◆ 今後取り組むべき内容を位置付けるようなとりまとめ方が良い。

その他の意見

- ◆ 地元の方が壁画づくりやタイル設置といった直接的な取組に参画することで、地元の方のアイデンティティの形成につながる。
- ◆ 宇野港の特性がにじみ出るようなフレーズを入れたほうが良い。
- ◆ 他の港と差別化するなら選択が必要であり、ある程度尖ったものとなるが、色々な人に聞くと非常に中途半端な企画となってしまう。
- ◆ 宇野港宇野地区にあるフェリー乗り場は2つの乗り場を1つに集約してほしい。
- ◆ 行政の枠を飛び越えた情熱のある行政人がいないと（玉野市は）成功しないと思う。
- ◆ 地元住民や委員の皆様等で港をどのような形で賑わいのあるところにしていくのか共通認識を持ったほうがよい。
- ◆ 利用する人たちは安らぎを求めてくる観光客だけではないため、地元の承諾を得てやっていかないと難しい問題に発展すると思慮される。
- ◆ 観光客が求めるのは宿泊と飲食である。
- ◆ 今回集まった委員の中では抽象的な課題を挙げるまでで留め、要望を含めた開発をディベロッパーに託したいという方針に持って行くことが良い。
- ◆ 拠点形成すると宇野港そのものを観光地化できると思う。

- 序章 これまでの経緯
- 第1章 第3回検討会での主なご意見とその対応
- 第2章 第3回検討会後の委員への個別意見伺い
- 第3章 宇野港宇野地区中長期ビジョンの
とりまとめに向けた整理
- 第4章 宇野港宇野地区中長期ビジョンの確認

第3回検討会後の委員意見のとりまとめ(案)

ターゲット

観光客 (+地元住民)

将来像

UNO PORT
SETOUCHI GATEWAY

～目的地として選ばれ、賑わう宇野港へ～

基本戦略

拠点形成

観光・産業

情報発信

中長期ビジョンにおける将来像、基本戦略、具体的な取組(案)

将来像

UNO PORT SETOUCHI GATEWAY ～目的地として惹かれ、賑わう宇野港へ～

※将来像には、宇野港宇野地区が、瀬戸内のゲートウェイとして人々が集い、やすらぎを得て日々の疲れを癒やす場所であるとともに、新たな旅や活動の出発点 (starting point) となることへの想いを込めている。

基本戦略

《拠点形成》
海上・陸上交通結節点を活かした滞在型観光拠点、地元住民も集う空間の形成

戦略
目的地として選択されるための拠点形成、機能強化、持続可能な開発

《観光・産業》
観光地間連携による周遊ルートの形成・サービスの充実

戦略
宇野港拠点の観光プラン（自然、歴史、芸術）の強化、産業の調和

《情報発信》
戦略的プロモーションの実施

戦略
プロモーション活動、情報発信力の強化

具体的な取組

やすらぎの空間形成 (Walkable City)

宿泊や商業施設の拡充（ホテル誘致や空き家を活用した民泊、飲食店等）

海上・陸上交通の充実

キラークンテンツの創出・磨き上げ（瀬戸内産業芸術祭、瀬戸内国際芸術祭、クルーズ船等）

海上交通を使った観光プランの充実（定期船、海上タクシー等）

陸上交通を使った観光プランの充実（JR、路線バス、観光バス等）

あらゆる手段を活用したプロモーション活動、効果的な情報発信体制の構築

- 序章 これまでの経緯
- 第1章 第3回検討会での主なご意見とその対応
- 第2章 第3回検討会後の委員への個別意見伺い
- 第3章 宇野港宇野地区中長期ビジョンの
とりまとめに向けた整理
- 第4章 宇野港宇野地区中長期ビジョンの確認

(資料2)